

H22年度PAT-LIST研究会 in OSAKA 》参加申込み用紙

第1回日時: 平成22年4月2日(金)
研究会 15:00~18:00
懇親会 18:30~20:00
原則毎月1回(第1金曜日)

会場: サムティフェイム新大阪 4F
 〒532-0011 大阪市淀川区西中島6丁目5番3号
 TEL:06-6885-9000 FAX:06-6885-9004

募集定員: 20名(先着順)

お申込みは下記のいずれかの方法で:

方法1)下記お申込み用紙に必要事項をご記入の上、指定番号へFAX下さい。

方法2)下記お申込み用紙の内容を、電子メールの本文に記載し、電子メールタイトルに「H22年度PAT-LIST研究会 in OSAKA 参加お申し込み」とご記入の上、info@raytec.co.jp までメール送信下さい。

お問合せ先:

株式会社レイテック 担当 渡辺(東京)、数田(大阪)
 電話 東京 03-3862-7863
 大阪 090-3904-0781



FAX 03(3862)7864

会社名	フリガナ	住所	〒
所属		役職	
参加者	フリガナ	連絡先	電話
			FAX
			Eメール

Q1: 特許情報検索・解析ツールは何をご使用ですか？

- PAT-LISTシリーズ
- 他社ツール(ツール名称 _____)
- 自前で作成したツール
- 使用していない

Q2: PAT-LISTシリーズに関してお尋ねします。該当するものに○を付けて下さい。

- 購入し頻繁に使用している
- 購入し一時使用したが現在は使用していない
- 購入したが使用していない
- CN/WEBを使用している
- PAT-LISTの保守契約を結んでいる
- 購入を検討している
- 購入は未定だが使用してみたい
- その他(_____)

Q3: ご希望の研究グループを1つだけ選択し、○を付けて下さい。

- 国内研究グループ
- 海外特許研究グループ
- 中国特許研究グループ

Q4: 研究したいテーマに○を付けて下さい(複数選択可)。

- 事業戦略の研究
- 研究・開発戦略の研究
- 知財戦略の研究
- 検索・解析ツールに求められる機能研究
- PAT-LISTの使い方研究
- ツールの比較研究
- 検索解析方法の研究
- 侵害調査や権利化状況確認の研究
- その他(_____)

<注意事項>

※お申込み用紙はお一人様1枚をご使用下さい。複数人の申し込みは、人数分コピーしてご使用下さい。

※参加申し込み多数の場合は、先着順とさせていただきます。定員オーバーの場合、参加お断りする場合がございます。

※お申し込みいただいた個人情報は、株式会社レイテックにて厳重に管理し、当社の営業活動やDM案内の他には使用いたしません。



平成22年度

ご案内 & お申込み要領



- 期間:** 平成22年4月～平成23年3月
回数: 原則毎月1回(第1金曜日)
場所: サムティフェイム新大阪 4F
参加費: 無料
募集人数: 20名
参加条件: 関西地区において
知的財産業務やR&Dに携わっている方
主催: 株式会社レイテック

PAT-LIST研究会 in OSAKA

開催について

関西地域を対象として下記の通り開催いたしたく会員募集を行います。

参加資格

関西地区において知的財産業務やR&Dに携わっている方(プロバイダーは除く)で、特許マップの基本概念の理解と作成・活用のスキルアップを図りたい方。

目的

関西地区における特許情報活用のスキルアップや振興を図ると共に、異業種交流を通して会員間の親睦を図ります。

原則毎月一回の研究会を開催して特許マップツールの操作を習得し、特許マップの作成や解析のスキルアップを図り、これら特許マップを真に企業収益に繋がる特許情報活用法として企業内で定着させ、知的財戦略、研究開発戦略、事業戦略等々に日常的に運用されることを目指します。

運営方針

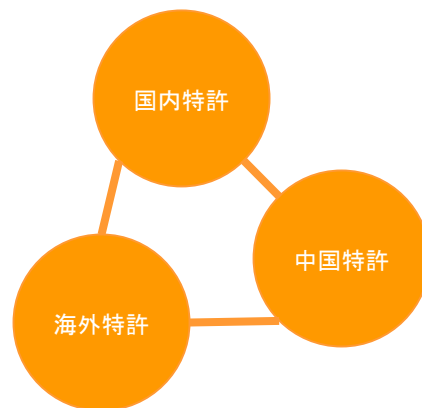
異業種間の自由闊達な討議と笑顔&挨拶と行動を重んじ、複数のグループに分かれて自分たちの選んだテーマで実践道場における研究・演習を行い、自己研鑽も狙います。

《主な研究テーマの例》

1. 事業戦略の研究
2. 研究・開発戦略の研究
3. 知財戦略の研究
4. 検索・解析ツールに求められる機能研究
5. PAT-LISTの使い方研究
6. ツールの比較研究
7. 検索解析方法の研究 等

※上記以外にご希望の研究テーマがありましたら、お申込み下さい。

■実践研究・演習



桐山勉氏 (一般財団法人 日本特許情報機構・研究所 客員研究員)、都築泉氏(大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 准教授・理学博士)らが指導アドバイザーとして参加されます。

■指導アドバイザー

工学博士 桐山 勉 氏

情報科学技術協会(INF OSTA)-SIG-パテントドキュメンテーション部会のコアパースン、Japio特許情報研究所の客員研究員、特許検索競技大会・実行委員会の副委員長、PAT-LIST研究会(東京)の主宰などで活躍中。



■指導アドバイザー

理学博士 都築 泉 氏

1980年丸善(株) MASIS関西センター。1994年青山特許事務所入所。1997年(株)KMK デジテックス次長。2000年(株)ジー・サーチ データベース営業部カスタマーサービス(現・ナレッジサポート) 担当課長。2005年大阪工業大学 大学院 知的財産研究科 助教授 現在に至る。



■桐山氏最新記事

「特許分析・解析の哲学小道」情報管理誌、8月号(2009)

(2009 http://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/52/5/286/_pdf/-char/ja/)

PAT-LIST研究会って何？

特許マップ研究会は、株式会社レイテックの特許情報調査・解析ツール「PAT-LIST」シリーズをベースに、特許情報の活用方法や調査・解析ツールのありべき姿などを議論・研究する任意の集まりです。主に、「PAT-LIST」シリーズ既購入者、購入検討者、広く特許情報の活用を考えておられる方々など、知的財産に関わりの深いメンバーで構成されています。

全て参加しなくていけないの？

グループワークで継続的な研究が中心となりますので、極力、同じ人が毎回参加して頂くようお願いしております。但し、事情によりメンバー変更することも可能です。

どのように研究を進めるの？

グループワークが中心となります。グループメンバーで課題(=研究テーマ)を定め、その課題を解決するために「PAT-LIST」シリーズを使用しながら具体的な解決手法を学んでいきます。研究成果に加え、この研究過程(=考え方や使い方、ノウハウなど)に価値があります。

入会資格は必要なの？

必要ありません。但し、他のメンバーとの共同研究(グループワーク)がメインとなりますので、協調性・積極性・創造性のある方が望ましいです。

秘密保持、成果物の帰属は？

参加者間での秘密保持は結んでおりません。各自の判断により開示可能な情報をベースに研究を進めます。研究成果は、主催者のレイテックに帰属します。また、発明を出願する場合の出願人は(株)レイテックとします。ただし、成果物から収益が発生した場合には適切な利益分配を受けられます。

入会するメリットは？

研究期間中、「PAT-LIST」シリーズを無料でご使用いただけます。更に、ショートレクチャーやメンバー間の意見交換など、異業種の知財担当と情報交換が行えます。一年間の開催期間の場合は、成果発表会も組み込まれており、研究成果(OUTPUT)も明確です。

お金は掛かるの？

基本的に無料です。但し、懇親会や追加研究時など必要最低限の参加費をいただくことがあります。また会場までの交通費や宿泊費は、各自負担となります。

PAT-LISTの使い方は教えてくれるの？

参加メンバーの希望により、基礎レベル/講習編の概要を実施します。実施日時も研究会開始後、メンバー間で調整いたします。

この研究会の実績は？

平成18年に発足し、今年5年目を迎えています。この間の延べ参加企業等は97社、延べ参加人数は123人となります。期末の成果発表会には多くの方が関心を示され、平成20年度第3期の成果発表会では約80名が聴講されています。平成21年度研究会は東京が参加者21名、3グループ、名古屋が19名、4グループで研究を行いました。

PAT-LIST資格認定に有利ですか？

検索システムの利便性が高まり、誰でも簡単に特許調査ができる時代です。それに伴い、特許情報を知財戦略、研究開発戦略、事業戦略等に活用することが日常的に行われつつあります。レイテックでは、特許情報活用能力UPを狙い、PAT-LISTを効果的に活用できる技能者の資格認定(4段階)を設けました。PAT-LIS研究会に参加すると、活動を通じてPAT-LISTを使いこなせるようになり、資格認定に大変有利になります。